

【鳴門市行政評価】

平成27年度事務事業評価シート(26年度実績)

◎基本情報

事務事業名		観光推進体制強化事業(観光協会の組織力強化)		担当部署	経済建設部 観光振興課	
総合計画体系				根拠法令 計画など	開始 平成 23年度	
基本政策(大項目)	1	うきうき活力と魅力あふれるまちづくり				
政策(中項目)	2	伝えたい 魅力あふれるまち なんと		事業期間	終期 未定	
(小項目)		観光				
施策	1	観光・交流のまちづくり				
基本事業	2	国内外の観光客受け入れ態勢の整備				

◎事業概要(PLAN)

事業対象	誰(何)を対象にしているか	<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 内部管理 鳴門市うずしお観光協会							
事業目標	対象をどのような状態にしたい(目指す)のか	観光資源の育成や宣伝、誘客につながるイベントの実施など、市観光振興の基幹となる観光協会の組織力強化により、入込客数の増、観光客の利便性向上を図る。							
事業計画	26年度に何を計画していたか	市うずしお観光協会は、取得した「地域限定旅行業」により、旅行商品を造成し、県外エージェントを中心とした旅行代理店への売り込みを強化する。 市内観光施設等、協会会員との合同観光キャンペーンの回数を増やすなど、会員相互の連携を深め、情報共有により効果的な観光振興を図る。 市・南あわじ市・淡路島観光協会・各商工会等と連携し、「鳴門海峡の渦潮世界遺産化」に取り組むことにより、「渦潮」をはじめとした観光ブランド化を推進する。							
成果目標	事業目標の達成度合	指標名		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	単位
		観光入込客数		2,350,000	2,400,000	2,450,000	2,500,000	2,500,000	人

◎実施結果(DO)

事業実施内容	26年度は目標を達成するため、手段としてどのような活動を行っているのか	市うずしお観光協会は、取得した「地域限定旅行業」により、旅行商品を造成し、県外エージェントを中心とした旅行代理店への売り込みを強化している。ボランティアガイドが案内するプラン等、独自の旅行商品「郷旅」の販売を開始した。 市うずしお観光協会を事務局として、世界遺産化を目指す民間推進団体「鳴門海峡の渦潮を世界遺産にする会」を発足させるなど、「渦潮」をはじめとした観光ブランド化を推進している。 県内外のイベント等に出展することにより物産PRを行うとともに、1周年記念イベントを開催するなど、「なると物産館」や道の駅「第九の里」物産館での販売を促進している。					
事業実施手法		<input type="checkbox"/> 市実施 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他					
指標名		25年度実績	26年度実績	27年度目標	28年度目標	29年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1 会員数	195	232	240	240	240	人
	2						
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標	観光入込客数	1,843,242	1,945,431	—	—	—	人
	目標達成率(実績/目標)		81.1	—	—	—	%
今年度の進捗状況	ほぼ計画どおり	事業全体の進捗状況		計画どおり			

(千円)

財源内訳	平成26年度	年度	区分	国	県	地方債	その他特定財源	一般財源	事業費計
		当初予算額		0	0	0	200	17,800	18,000
		全体予算額		0	0	0	200	17,800	18,000
		決算額		0	0	0	200	17,800	18,000
		繰越額		0	0	0	0	0	0
	人件費		正規職員(6,878千円/人)	臨時職員(2,023千円/人)	総人件費		総事業費		
		0.5	0.0	3,439		21,439			

【事務事業名:観光推進体制強化事業(観光協会の組織力強化)】

【鳴門市行政評価】

(千円)

事業費推移	年度	25年度決算	26年度決算	27年度	28年度	29年度
	事業費	18,000	18,000	18,000	18,000	18,000
	うち一般財源	17,800	17,800	17,800	17,800	17,800
	人件費	3,259	3,439	3,439	3,439	3,439
	総事業費	21,259	21,439	21,439	21,439	21,439

◎項目別評価(CHECK)

評価項目		評価値		所見欄
①活動に対する評価	有効性	B:概ね有効性があった		法人化により、社会的信用性が増しただけでなく、受託事業等収益事業も可能となった。「地域限定旅行業」の取得により、本市への観光誘客を促進した。
	効率性	B:概ね効率的だった		収益事業等で自主財源を確保していくことで、経営基盤の強化に努めた。
②成果に対する評価	指標名	観光入込客数		自然・文化・食など、優れた観光資源を有していながらここ数年観光入込客数が伸び悩んでいる。
	目標	2,400,000	人	
	実績	1,945,431	人	
	評価	B:概ね目標を達成できた		
③総合的な評価		B		目標を達成できていないことから、B評価とする。

◎今後の方向性(ACTION)

課題	観光振興課と観光協会の事務分担を明確にするとともに、両者が連携し、機能的に観光振興を図れるような体制づくりをすすめていく必要がある。				
今後の方向性	1.廃止	2.要改善	3.現状維持	4.拡充	3
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。					
実施内容	H27年度	物販や旅行商品の開発など行政では手の及ばない部分については観光協会が補完するなど、事務分担を明確にし、それぞれの持ち分を活かした観光振興を図っていく。			
	H28年度	H27年度の反省点等を踏まえ、事業内容の見直し・検討を行う。			